



Cisco Catalyst SD-WAN Cloud Interconnect with Megaport のライセンス管理



(注) 簡素化と一貫性を実現するために、Cisco SD-WAN ソリューションは Cisco Catalyst SD-WAN としてブランド名が変更されました。さらに、Cisco IOS XE SD-WAN リリース 17.12.1a および Cisco Catalyst SD-WAN リリース 20.12.1 以降、次のコンポーネントの変更が適用されます。**Cisco vManage** から **Cisco Catalyst SD-WAN Manager** への変更、**Cisco vAnalytics** から **Cisco Catalyst SD-WAN Analytics** への変更、**Cisco vBond** から **Cisco Catalyst SD-WAN Validator** への変更、**Cisco vSmart** から **Cisco Catalyst SD-WAN コントローラ** への変更、および **Cisco コントローラ** から **Cisco Catalyst SD-WAN 制御コンポーネント** への変更。すべてのコンポーネントブランド名変更の包括的なリストについては、最新のリリースノートを参照してください。新しい名前への移行時は、ソフトウェア製品のユーザーインターフェイス更新への段階的なアプローチにより、一連のドキュメントにある程度の不一致が含まれる可能性があります。

表 1: 機能の履歴

機能名	リリース情報	説明
Cisco Catalyst SD-WAN Cloud Interconnect with Megaport のライセンス管理	Cisco vManage リリース 20.9.1	<p>Megaport ファブリックでインターコネクトゲートウェイとインターコネクト接続を作成するには、Cisco Commerce Workspace で必要なライセンスを購入する必要があります。</p> <p>この機能により、Cisco SD-WAN Manager は Megaport と連携してライセンスをモニターできるようになります。また、インターコネクトゲートウェイまたはインターコネクト接続の作成時に、シスコと Megaport が共同でライセンス要件を適用します。</p>
Megaport の従量制課金および IP トランジットライセンスの管理	<p>Cisco IOS XE Catalyst SD-WAN リリース 17.14.1a</p> <p>Cisco Catalyst SD-WAN Manager リリース 20.14.1</p>	<p>この機能により、Megaport サービスの従量制課金 (PAYG) ライセンスタイプのサポートが導入されます。PAYG モデルは、使用量に基づいて支払うことができる使用量ベースのモデルです。たとえば、クラウドストレージサービスプロバイダーは、使用されたストレージの量に基づいて請求することができます。</p>

- [Cisco Catalyst SD-WAN Cloud Interconnect with Megaport のライセンス管理に関する情報 \(3 ページ\)](#)
- [Megaport アカウントに関連付けられたライセンスの表示 \(14 ページ\)](#)
- [インターコネクトゲートウェイに関連付けられたライセンス SKU の確認 \(16 ページ\)](#)
- [インターコネクト接続に関連付けられたライセンス SKU の確認 \(17 ページ\)](#)

Cisco Catalyst SD-WAN Cloud Interconnect with Megaport の ライセンス管理に関する情報

Cisco Catalyst SD-WAN Cloud Interconnect with Megaport ソリューションでは、Cisco SD-WAN Manager を使用して、Cisco Catalyst SD-WAN オーバーレイと Megaport ファブリックにまたがるサイトとクラウド間およびサイト間の接続を作成することができます。サイトとクラウド間のユースケースでは、Megaport ファブリックを使用して Cisco Catalyst SD-WAN ブランチサイトをパブリッククラウドサービスに接続することができます。サイト間のユースケースでは、Megaport ファブリックを使用して Cisco Catalyst SD-WAN ブランチサイトを別のブランチサイトに接続することができます。

Cisco SD-WAN Manager を使用してサイトとクラウド間の接続を作成するワークフローは、次のとおりです。

- Megaport Point of Presence (PoP) で Cisco Catalyst 8000V インスタンスをインターコネクタゲートウェイとして展開します。
- Megaport ファブリックのインターコネクタゲートウェイとクラウドサービスプロバイダー間にインターコネクタ接続を作成します。
- Cisco Catalyst SD-WAN オーバーレイを介してブランチの WAN エッジデバイスからインターコネクタゲートウェイにトラフィックをルーティングし、ブランチをクラウドサービスプロバイダーに接続します。

Cisco SD-WAN Manager を使用してサイト間の接続を作成するワークフローは、次のとおりです。

- Megaport Point of Presence (PoP) で 2 つの Cisco Catalyst 8000V インスタンスをインターコネクタゲートウェイとして展開します。
- Megaport ファブリックのインターコネクタゲートウェイ間にインターコネクタ接続を作成します。
- Cisco Catalyst SD-WAN オーバーレイを介して、ブランチの 1 つにある WAN エッジデバイスからインターコネクタゲートウェイの 1 つにトラフィックをルーティングします。
- Cisco Catalyst SD-WAN オーバーレイを介して、もう 1 つのブランチの WAN エッジデバイスからもう 1 つのインターコネクタゲートウェイにトラフィックをルーティングします。

Megaport ファブリックでインターコネクタゲートウェイとインターコネクタ接続を作成する前に、Cisco Commerce Workspace で最小在庫管理単位 (SKU) として利用可能な必要なライセンスを購入する必要があります。ライセンスは、次の 3 つのカテゴリに属しています。

- インターコネクタゲートウェイ ライセンス
- インターコネクタ接続ライセンス
- 補足ライセンス

これらのライセンスは、必要な Cisco Catalyst 8000V ライセンスと、必要に応じて HSEC ライセンスとともに購入する必要があります。必要なライセンスがない場合、インターコネクトゲートウェイまたはインターコネクト接続の作成は失敗し、Megaport が提供する適切なエラーメッセージが Cisco SD-WAN Manager に表示されます。

インターコネクトゲートウェイライセンス

インターコネクトゲートウェイライセンスを使用すると、Megaport ファブリック内の特定のリージョンのメトロにインターコネクトゲートウェイを展開することができます。

インターコネクトゲートウェイライセンスを選択する際は、次の点を考慮してください。

- 展開リージョン：そのリージョン内のブランチに最も近い Megaport PoP にインターコネクトゲートウェイを展開します。
- フォームファクタ：ゲートウェイに接続する予定のすべてのブランチからの着信トラフィックの最大累積帯域幅に基づいて、インターコネクトゲートウェイのフォームファクタを選択します。

SKU は MVE-<region-code>-<form-factor-code>-C という形式で命名されます

- Megaport の用語では、インターコネクトゲートウェイは Megaport Virtual Edge (MVE) と呼ばれます。
- region-code で、1 つ以上のメトロを含むリージョンを識別します。次に、各メトロには冗長性のために複数のデータセンターがあります。次の表に、使用可能なリージョン、リージョンコード、および各リージョン内のメトロを示します。

リージョン	リージョンコード	メトロ
北米	該当なし	アッシュバーン、アトランタ、ベイエリア、シカゴ、ダラス、デンバー、ロサンゼルス、マイアミ、ニューヨーク、フェニックス、シアトル、トロント
欧州	EU	アムステルダム、フランクフルト、パリ
アジア	ASIA	香港、シンガポール、大阪、東京
オーストラリア	AU	メルボルン、パース、シドニー
ニュージーランド	NZ	オークランド
英国	英国	ロンドン



- (注)
- サポートされるリージョン内のメトロおよびサポートされるリージョンは、新しいメトロおよびリージョンへの Megaport の拡張に基づいて変更される可能性があります。サポートされるメトロとリージョンの最新リストについては、Cisco Commerce Workspace を確認してください。
 - インターコネクトゲートウェイの展開でメトロを使用できるかどうかは、メトロで使用可能なコンピューティングキャパシティによって異なります。

- フォームファクタは次のいずれかです。

フォームファクタ	フォームファクタコード	説明
小	SML	2 コアの Cisco Catalyst 8000v インスタンスが、500 Mbps の最大インバウンド帯域幅をサポートします
中	MED	4 コアの Cisco Catalyst 8000v インスタンスが、1 Gbps の最大インバウンド帯域幅をサポートします
大	LRG	8 コアの Cisco Catalyst 8000v インスタンスが、5 Gbps の最大インバウンド帯域幅をサポートします

- SKU 名の末尾にある -C は、プリペイドライセンスであることを示しています。

インターコネクトゲートウェイへの IP トランジット

インターコネクトゲートウェイライセンスに加えて、Cisco Commerce Workspace で適切な IP トランジットライセンスも購入する必要があります。IP トランジットライセンスは、Megaport PoP でのインターネット接続用です。ブランチの WAN エッジデバイスは、このインターネット接続を介してインターコネクトゲートウェイに接続します。Cisco Commerce Workspace でインターコネクトゲートウェイライセンスを選択すると、適切な IP トランジットライセンスが自動的に購入対象に含まれます。

IP トランジット SKU は IPT-<region-code>-<form-factor-code>-C という形式で命名されます。リージョンコードとフォームファクタコードの値は、インターコネクトゲートウェイ SKU と同じです。SKU 名の末尾にある -C は、プリペイドライセンスであることを示しています。

関連トピック

[インターコネクトゲートウェイのライセンスの適用](#) (9 ページ)

インターコネクト接続ライセンス

次の 2 種類のインターコネクト接続を作成できます。

- Megaport リージョンのメトロ内：メトロ内のインターコネクト接続は、短距離接続です。
- メトロ間：メトロ間のインターコネクト接続は、長距離接続です。

Cisco Commerce Workspace で、短距離接続と長距離接続の両方に適切なライセンスを購入します。

短距離インターコネクト接続ライセンス

インターコネクト ゲートウェイから、Cloud onRamp インスタンスまたは同じメトロ内の別のインターコネクトゲートウェイへの短距離インターコネクト接続を作成できます。短距離インターコネクト接続は、メトロ内のクラウド サービス プロバイダーへのプライベート接続として機能します。短距離インターコネクト接続の帯域幅は 1 Gbps または 10 Gbps です。短距離インターコネクト接続は、メトロ内 (IM) インターコネクト接続とも呼ばれます。

短距離インターコネクト接続 SKU は、VXC-IM-<bandwidth>-<region-code>-C という形式で命名されます

- Megaport の用語では、インターコネクト接続は仮想クロスコネクト (VXC) と呼ばれます。IM は In-Metro (メトロ内) を示しています。
- region-code で、1 つ以上のメトロを含むリージョンを識別します。次に、各メトロには冗長性のために複数のデータセンターがあります。次の表に、使用可能なリージョン、リージョンコード、および各リージョン内のメトロを示します。

リージョン	リージョンコード	メトロ
北米	該当なし	アッシュバーン、アトランタ、ベイエリア、シカゴ、ダラス、デンバー、ロサンゼルス、マイアミ、ニューヨーク、フェニックス、シアトル、トロント
欧州	EU	アムステルダム、フランクフルト、パリ
アジア	ASIA	香港、シンガポール、大阪、東京
オーストラリア	AU	メルボルン、パース、シドニー
ニュージーランド	NZ	オークランド
英国	英国	ロンドン



- (注) サポートされるリージョン内のメトロおよびサポートされるリージョンは、新しいメトロおよびリージョンへの Megaport の拡張に基づいて変更される可能性があります。サポートされるメトロとリージョンの最新リストについては、Cisco Commerce Workspace を確認してください。

リージョンの短距離インターコネクト接続 SKU を使用すると、リージョン内の任意のメトロでインターコネクト接続を作成できます。

- 帯域幅は、1G（1 Gbps を表す）または 10 G（10 Gbps を表す）です。
- SKU 名の末尾にある -C は、プリペイドライセンスであることを示しています。

長距離インターコネクト接続ライセンス

長距離インターコネクト接続は、次の場合に作成できます。

- インターコネクトゲートウェイから、同じリージョンの別のメトロ内または別のリージョン内にある Cloud onRamp インスタンスへ。インターコネクト接続は、メトロまたはリージョンにまたがるクラウドサービスプロバイダーへのプライベート接続として機能します。
- インターコネクトゲートウェイから、同じリージョンの別のメトロ内または別のリージョン内にある別のインターコネクトゲートウェイへ。インターコネクト接続は、メトロまたはリージョンにまたがるインターコネクトゲートウェイを接続します。

長距離インターコネクト接続の帯域幅は、50 Mbps、100 Mbps、200 Mbps、300 Mbps、400 Mbps、500 Mbps、1 Gbps、2 Gbps、5 Gbps、および 10 Gbps のいずれかです。

長距離インターコネクト接続は、リージョン間/内インターコネクト接続とも呼ばれます。

長距離インターコネクト接続 SKU は、VXC-II-<region1-code>-<region2-code>-C という形式で命名されます

- Megaport の用語では、インターコネクト接続は仮想クロスコネクト（VXC）と呼ばれます。II は Inter/Intra-Region（リージョン内/間）を示しています。
- region-code で、1 つ以上のメトロを含むリージョンを識別します。次に、各メトロには冗長性のために複数のデータセンターがあります。次の表に、使用可能なリージョン、リージョンコード、および各リージョン内のメトロを示します。

リージョン	リージョンコード	メトロ
北米	該当なし	アッシュバーン、アトランタ、バイエリア、シカゴ、ダラス、デンバー、ロサンゼルス、マイアミ、ニューヨーク、フェニックス、シアトル、トロント
欧州	EU	アムステルダム、フランクフルト、パリ
アジア	ASIA	香港、シンガポール、大阪、東京
オーストラリア	AU	メルボルン、パース、シドニー
ニュージーランド	NZ	オークランド
英国	英国	ロンドン



- (注) サポートされるリージョン内のメトロおよびサポートされるリージョンは、新しいメトロおよびリージョンへの Megaport の拡張に基づいて変更される可能性があります。サポートされるメトロとリージョンの最新リストについては、Cisco Commerce Workspace を確認してください。

リージョンの長距離インターコネクタ接続 SKU を使用すると、リージョン内の任意のメトロでインターコネクタ接続を作成できます。

- SKU 名の末尾にある -C は、プリペイドライセンスであることを示しています。

関連トピック

[短距離インターコネクタ接続のライセンスの適用](#) (10 ページ)

[長距離インターコネクタ接続のライセンスの適用](#) (11 ページ)

補足ライセンス

AWS ホスト型接続を作成するには、短距離または長距離のインターコネクタ接続ライセンスに加えて、Cisco Commerce Workspace で AWS ホスト型接続ライセンスを購入する必要があります。

長距離インターコネクタ接続を AWS ホスト型接続として使用するには、AWS-HC-IIVXC-C という形式の SKU を購入します

- AWS-HC は、AWS ホスト型接続を示しています。
- IIVXC は、リージョン間/リージョン内 VXC または長距離インターコネクタ接続を示しています。
- 接続の許容帯域幅は、長距離インターコネクタ接続ライセンスに関連付けられた帯域幅によって決まります。
- SKU 名の末尾にある -C は、プリペイドライセンスであることを示しています。

短距離インターコネクタ接続を AWS ホスト型接続として使用するには、AWS-HC-IMVXC-<bandwidth>-C という形式の SKU を購入します

- AWS-HC は、AWS ホスト型接続を示しています。
- IMVXC は、メトロ内 VXC または短距離インターコネクタ接続を示しています。
- 帯域幅は、1G (1 Gbps を表す) または 10 G (10 Gbps を表す) です。AWS ホスト型接続ライセンスの帯域幅は、短距離インターコネクタ接続ライセンスの帯域幅と一致している必要があります。
- SKU 名の末尾にある -C は、プリペイドライセンスであることを示しています。

関連トピック

[AWS ホスト型接続のライセンスの適用](#) (12 ページ)

ライセンスの適用

シスコと Megaport は、Cisco Commerce Workspace を通じて購入したライセンスの資格を共同で適用します。

- Cisco Commerce Workspace でライセンス SKU を購入すると、Megaport に購入が通知され、ライセンスが Megaport アカウントに追加されます。また、Cisco SD-WAN Manager の [Account Licenses] ページでライセンス情報を表示することもできます。
- Cisco SD-WAN Manager でインターコネクト ゲートウェイ、インターコネクト接続、または AWS ホスト型接続を作成する場合、Megaport ファブリックにリソースを作成する前に、Megaport が必要なライセンスがあるかどうかを確認します。
- 必要なライセンスがある場合、Megaport はライセンスステータスを使用中に変更し、リクエストされたリソースを作成します。Cisco SD-WAN Manager でもライセンスステータスが更新されます。
- 必要なライセンスがない場合、Megaport はリクエストされたリソースを作成せず、Cisco SD-WAN Manager に必要なライセンスがないことを示すエラーメッセージが表示されます。Cisco Commerce Workspace で必要なライセンスを購入し、リソースを作成します。
- Cisco SD-WAN Manager は、ライセンスの有効期限が切れる 90 日前にアラームを発生させます。また、Cisco SD-WAN Manager はライセンスの有効期限が切れたとき、または Cisco Commerce Workspace で更新されたときにもアラームを発生させます。
- Megaport は、ライセンスの有効期限とライセンスの有効期限が近づいていることを、電子メールで通知します。

関連トピック

[Megaport アカウントに関連付けられたライセンスの表示](#) (14 ページ)

インターコネクト ゲートウェイのライセンスの適用

Cisco SD-WAN Manager でインターコネクトゲートウェイを作成すると、Cisco SD-WAN Manager はリクエストを Megaport に送信します。リクエストを承認する前に、Megaport はアカウントに必要なライセンスがあるかどうかを確認します。

インターコネクトゲートウェイを作成するには、次の基準に一致するインターコネクトゲートウェイライセンスが必要です。

- ライセンスの有効期限が切れていたり、使用中だったりしてはなりません。
- ライセンスは、インターコネクトゲートウェイを作成するリージョンに適用する必要があります。
- ライセンスは、作成するインターコネクトゲートウェイのフォームファクタと一致している必要があります。

- 使用されていない、リクエストされたリージョンとフォームファクタをサポートしている複数のライセンスがある場合は、有効期限が最も早いライセンスが選択されます。

必要な基準に一致するライセンスがある場合、Megaport はライセンスを使用中とマークし、インターコネクタ ゲートウェイを作成するためのリクエストを承認します。

必要な基準を満たすライセンスがない場合、インターコネクタ ゲートウェイの作成は失敗し、Cisco SD-WAN Manager に「No license for <ICGWName> MVE」などの該当するエラーメッセージが表示されます

Cisco Commerce Workspace で必要なライセンスを購入するか、使用中のライセンスを使用可能にして、インターコネクタ ゲートウェイの作成を再試行します。インターコネクタ ゲートウェイを削除すると、関連するライセンスのステータスが使用可能に変化します。

ライセンスの有効期限

Cisco SD-WAN Manager は次のシナリオでアラームを発生させます。

- インターコネクタ ゲートウェイ ライセンスの有効期限が切れる 90 日前
- インターコネクタ ゲートウェイ ライセンスの有効期限が切れた場合
- インターコネクタ ゲートウェイ ライセンスが更新された場合

ライセンスの有効期限が切れても、Megaport はインターコネクタ ゲートウェイを停止しません。有効期限が切れる前にライセンスを更新するか、ライセンスの有効期限が切れてから 14 日以内にインターコネクタ ゲートウェイを停止してください。14 日間の猶予期間内にライセンスを更新しない場合は、Megaport がグローバルサービス契約に基づいてユーザーに直接請求することができます。

関連トピック

[インターコネクタ ゲートウェイ ライセンス \(4 ページ\)](#)

短距離インターコネクタ接続のライセンスの適用

Cisco SD-WAN Manager で短距離インターコネクタ接続を作成すると、Cisco SD-WAN Manager はリクエストを Megaport に送信します。リクエストを承認する前に、Megaport はアカウントに必要なライセンスがあるかどうかを確認します。

短距離インターコネクタ接続を作成するには、次の基準に一致する短距離インターコネクタ接続ライセンスが必要です。

- ライセンスの有効期限が切れていたり、使用中だったりしてはなりません。
- ライセンスは、ターゲットのメトロがあるリージョンに適用する必要があります。
- ライセンスが、作成するインターコネクタ接続の帯域幅と一致しているか、より大きな帯域幅をサポートしている必要があります。
- 使用されていない、リージョンと帯域幅が一致する複数のライセンスがある場合は、有効期限が最も早いライセンスが選択されます。

帯域幅に一致するライセンス、またはより高い帯域幅の最も近いライセンスが必要なリージョンと可用性の基準を満たしている場合、Megaport はライセンスを使用中としてマークし、短距離インターコネクタ接続を作成するためのリクエストを承認します。

必要な基準を満たすライセンスがない場合、短距離インターコネクタ接続の作成は失敗し、Cisco SD-WAN Manager に「Unable to find valid matching license for the Interconnect connection」などの該当するエラーメッセージが表示されます

Cisco Commerce Workspace で必要なライセンスを購入するか、使用中のライセンスを使用可能にして、短距離インターコネクタ接続の作成を再試行します。短距離インターコネクタ接続を削除すると、関連するライセンスのステータスが使用可能に変化します。

ライセンスの有効期限

Cisco SD-WAN Manager は次のシナリオでアラームを発生させます。

- 短距離インターコネクタ接続ライセンスの有効期限が切れる 90 日前
- 短距離インターコネクタ接続ライセンスの有効期限が切れた場合
- 短距離インターコネクタ接続ライセンスが更新された場合

ライセンスの有効期限が切れても、Megaport は短距離インターコネクタ接続を停止しません。有効期限が切れる前にライセンスを更新するか、ライセンスの有効期限が切れてから 14 日以内に短距離インターコネクタ接続を停止してください。14 日間の猶予期間内にライセンスを更新しない場合は、Megaport がグローバルサービス契約に基づいてユーザーに直接請求することができます。

関連トピック

[インターコネクタ接続ライセンス](#) (5 ページ)

長距離インターコネクタ接続のライセンスの適用

Cisco SD-WAN Manager で長距離インターコネクタ接続を作成すると、Cisco SD-WAN Manager はリクエストを Megaport に送信します。リクエストを承認する前に、Megaport はアカウントに必要なライセンスがあるかどうかを確認します。

長距離インターコネクタ接続を作成するには、次の基準に一致する長距離インターコネクタ接続ライセンスが必要です。

- ライセンスの有効期限が切れていたり、使用中だったりしてはなりません。
- ライセンスは、ソースとターゲットのメトロがあるリージョンに適用する必要があります。



(注) 英国は EU リージョンに属していません。英国内に発信元または終端がある接続をプロビジョニングするには、適切な英国ライセンスがあることを確認します。

- ライセンスが、作成するインターコネクタ接続の帯域幅と一致しているか、より大きな帯域幅をサポートしている必要があります。
- 使用されていない、リージョンと帯域幅が一致する複数のライセンスがある場合は、有効期限が最も早いライセンスが選択されます。

帯域幅に一致するライセンス、またはより高い帯域幅の最も近いライセンスが必要なリージョンと可用性の基準を満たしている場合、Megaport はライセンスを使用中としてマークし、長距離インターコネクタ接続を作成するためのリクエストを承認します。

必要な基準を満たすライセンスがない場合、長距離インターコネクタ接続の作成は失敗し、Cisco SD-WAN Manager に「Unable to find valid matching license for the Interconnect connection」などの該当するエラーメッセージが表示されます

Cisco Commerce Workspace で必要なライセンスを購入するか、使用中のライセンスを使用可能にして、長距離インターコネクタ接続の作成を再実行します。長距離インターコネクタ接続を削除すると、関連するライセンスのステータスが使用可能に変化します。

ライセンスの有効期限

Cisco SD-WAN Manager は次のシナリオでアラームを発生させます。

- 長距離インターコネクタ接続ライセンスの有効期限が切れる 90 日前
- 長距離インターコネクタ接続ライセンスの有効期限が切れた場合
- 長距離インターコネクタ接続ライセンスが更新された場合

ライセンスの有効期限が切れても、Megaport は長距離インターコネクタ接続を停止しません。有効期限が切れる前にライセンスを更新するか、ライセンスの有効期限が切れてから 14 日以内に長距離インターコネクタ接続を停止してください。14 日間の猶予期間内にライセンスを更新しない場合は、Megaport がグローバルサービス契約に基づいてユーザーに直接請求することができます。

関連トピック

[インターコネクタ接続ライセンス](#) (5 ページ)

AWS ホスト型接続のライセンスの適用

短距離または長距離のインターコネクタ接続 Cisco SD-WAN Manager を作成し、それを AWS ホスト型接続として使用する場合、Cisco SD-WAN Manager はリクエストを Megaport に送信します。Megaport はリクエストを承認する前に、必要な短距離または長距離のインターコネクタ接続ライセンスと、AWS ホスト型接続の補足ライセンスがあるかどうかを確認します。

- 短距離インターコネクタ接続ライセンスは、このドキュメントの[短距離インターコネクタ接続のライセンスの適用](#) (10 ページ) のセクションに記載されている要件を満たしている必要があります。
- 長距離インターコネクタ接続ライセンスは、このドキュメントの[長距離インターコネクタ接続のライセンスの適用](#) (11 ページ) のセクションに記載されている要件を満たしている必要があります。

- AWS ホスト型接続ライセンスの有効期限が切れていたり、使用中だったりしてはなりません。

帯域幅に一致するインターコネクト接続ライセンス、またはより高い帯域幅の最も近いライセンスが必要なリージョンと可用性の基準を満たしていて、AWS ホスト型接続の補足ライセンスが使用可能な場合、Megaport はライセンスを使用中としてマークし、長距離インターコネクト接続を作成するためのリクエストを承認します。

必要なライセンスがない場合、接続の作成は失敗し、Cisco SD-WAN Manager に「Unable to find valid matching license for the Interconnect connection」などの該当するエラーメッセージが表示されます

Cisco Commerce Workspace で必要なライセンスを購入するか、使用中のライセンスを使用可能にして、AWS ホスト型接続の作成を再試行します。AWS ホスト型接続として使用されているインターコネクト接続を削除すると、関連付けられたライセンスを使用して新しい AWS ホスト型接続を作成できるようになります。

ライセンスの有効期限

Cisco SD-WAN Manager は次のシナリオでアラームを発生させます。

- 補足ライセンスの有効期限が切れる 90 日前
- 補足ライセンスの有効期限が切れたとき
- 補足ライセンスが更新されたとき

ライセンスの有効期限が切れても、Megaport は AWS ホスト型接続を停止しません。有効期限が切れる前にライセンスを更新するか、ライセンスの有効期限が切れてから 14 日以内に接続を停止してください。14 日間の猶予期間内にライセンスを更新しない場合は、Megaport がグローバルサービス契約に基づいてユーザーに直接請求することができます。

関連トピック

[補足ライセンス](#) (8 ページ)

従量制ライセンスに関する情報

サポートされている最小リリース : Cisco IOS XE Catalyst SD-WAN リリース 17.14.1a、Cisco Catalyst SD-WAN Manager リリース 20.14.1

Megaport サービスの PAYG ライセンスでは、使用するインフラストラクチャ リソースに対してのみ料金を支払うことができます。PAYG ライセンスメカニズムでは、Cisco Commerce Workspace (CCW) から PAYG SKU を調達する必要があります。これらの PAYG ライセンス SKU は、期間契約を必要とせずに Megaport サービスを起動します。日々の帯域幅要件に基づいてネットワークを動的に拡張または縮小でき、月末に請求されます。

Megaport の場所で PAYG ライセンスを使用してインターコネクト ゲートウェイを作成する方法については、「[Create Interconnect Gateway at a Megaport Location](#)」を参照してください。

Megaport アカウントに関連付けられたライセンスの表示

1. Cisco SD-WAN Manager のメニューから、[Configuration] > [Cloud OnRamp for Multicloud] を選択します。
2. [Interconnect] をクリックします。
3. [SETUP] の [WORKFLOWS] で、[Account Licenses] をクリックします。
4. [Provider] : ドロップダウンリストから、[Megaport] を選択します。
5. [Account Name] : ドロップダウンリストから、Megaport のアカウント名を選択します。
6. インターコネクトゲートウェイライセンスを表示するには、[INTERCONNECT GATEWAY LICENSES] をクリックします。

Cisco SD-WAN Manager では、アカウントに関連付けられたインターコネクトゲートウェイライセンス SKU が表示され、各 SKU の次の詳細が提供されます。

表 2: インターコネクトゲートウェイライセンス SKU の詳細

カラム	説明
SKU 名	ライセンス SKU の名前
SKU UUID	ライセンスが属する Megaport アカウント内のライセンス SKU の一意の ID
Gateway Size	インターコネクトゲートウェイインスタンスのサイズまたはフォームファクタ (SML、MED、または LRG)
状態	ライセンスの現在の状態 (IN_USE、IN_USE、EXPIRED、AVAILABLE、または EXPIRED)
License End Date	開始日と有効期間から導出されたライセンスの終了日 (有効期限)
開始日 (Start Date)	Cisco Commerce Workspace で SKU を注文したときに指定されたライセンスの開始日
Smart Account ID	ライセンスが属するスマートアカウント
Virtual Account ID	ライセンスが属するバーチャルアカウント
Subscription ID	ライセンスに関連付けられたサブスクリプション ID
Web Order ID	ライセンスの一意の Web 注文 ID

7. インターコネクト接続ライセンスを表示するには、[INTERCONNECT CONNECTION LICENSES] をクリックします。

Cisco SD-WAN Manager では、アカウントに関連付けられたインターコネクト接続ライセンス SKU が表示され、各 SKU の次の詳細が提供されます。

表 3: インターコネクト接続ライセンス SKU の詳細

カラム	説明
SKU 名	ライセンス SKU の名前
SKU UUID	ライセンスが属する Megaport アカウント内のライセンス SKU の一意の ID
状態	ライセンスの現在の状態 (IN_USE、IN_USE、EXPIRED、AVAILABLE、または EXPIRED)
License End Date	開始日と有効期間から導出されたライセンスの終了日 (有効期限)
開始日 (Start Date)	Cisco Commerce Workspace で SKU を注文したときに指定されたライセンスの開始日
VXC Bandwidth	インターコネクト接続の設定済み帯域幅 (Mbps)
Smart Account ID	ライセンスが属するスマートアカウント
Virtual Account ID	ライセンスが属するバーチャルアカウント
Subscription ID	ライセンスに関連付けられたサブスクリプション ID
Web Order ID	ライセンスの一意の Web 注文 ID

8. 補足ライセンスを表示するには、[SUPPLEMENTAL LICENSES] をクリックします。

Cisco SD-WAN Manager では、アカウントに関連付けられた補足ライセンス SKU が表示され、各 SKU の次の詳細が提供されます。

表 4: 補足ライセンス SKU の詳細

カラム	説明
SKU 名	ライセンス SKU の名前
SKU UUID	ライセンスが属する Megaport アカウント内のライセンス SKU の一意の ID
状態	ライセンスの現在の状態 (IN_USE、IN_USE、EXPIRED、AVAILABLE、または EXPIRED)

カラム	説明
License End Date	開始日と有効期間から導出されたライセンスの終了日（有効期限）
開始日（Start Date）	Cisco Commerce Workspace で SKU を注文したときに指定されたライセンスの開始日
帯域幅	AWS ホスト型接続の設定済み帯域幅（Mbps）
Smart Account ID	ライセンスが属するスマートアカウント
Virtual Account ID	ライセンスが属するバーチャルアカウント
Subscription ID	ライセンスに関連付けられたサブスクリプション ID
Web Order ID	ライセンスの一意の Web 注文 ID

インターコネクトゲートウェイに関連付けられたライセンス SKU の確認

1. Cisco SD-WAN Manager のメニューから、**[Configuration]** > **[Cloud OnRamp for Multicloud]** を選択します。
2. **[Interconnect]** をクリックします。
3. **[WORKFLOWS]** の下の **[MANAGE]** から、**[Gateway Management]** をクリックします。
Cisco SD-WAN Manager が、展開されたすべてのインターコネクトゲートウェイをテーブルに表示します。
4. 目的のインターコネクトゲートウェイを見つけます。



ヒント 設定時に指定した名前を使用して、インターコネクトゲートウェイを検索します。

5. 右にスクロールして、**[License SKU UUID]** 列を表示します。

[Account Licenses] ページで、この SKU UUID を使用してライセンス SKU に関する詳細情報を表示します。

[License End Date] 列には、インターコネクトゲートウェイライセンスの有効期限が表示されます。

関連トピック

[Megaport アカウントに関連付けられたライセンスの表示](#)（14 ページ）

インターコネクト接続に関連付けられたライセンス SKU の確認

1. Cisco SD-WAN Manager のメニューから、[Configuration] > [Cloud OnRamp for Multicloud] を選択します。
2. [Interconnect] をクリックします。
3. [WORKFLOWS] の [INTENT MANAGEMENT] から、[Interconnect Connectivity] をクリックします。

Cisco SD-WAN Manager が、設定済みのすべてのインターコネクト接続をテーブルに表示します。

4. 目的のインターコネクト接続を見つけます。



ヒント 設定時に入力した名前を使用して、インターコネクト接続を検索します。

5. 右にスクロールして、[Connection License SKU UUID] 列を表示します。[Account Licenses] ページで、この SKU UUID を使用してライセンス SKU に関する詳細情報を表示します。

[License End Date] 列には、インターコネクト接続ライセンスの有効期限が表示されます。

AWS ホスト型接続の場合、Cisco SD-WAN Manager には次の詳細が表示されます。

- [AWSHC License UUID] 列には、AWS ホスト型接続の補足ライセンスの SKU UUID が表示されます。[Account Licenses] ページで、この SKU UUID を使用してライセンス SKU に関する詳細情報を表示します。
- [AWSHC License End Date] 列には、AWS ホスト型接続の補足ライセンスの有効期限が表示されます。

関連トピック

[Megaport アカウントに関連付けられたライセンスの表示](#) (14 ページ)

■ インターコネクト接続に関連付けられたライセンス SKU の確認

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。